

1.1.1 仮想サーバーインスタンス新環境移行 (インスタンスのリサイズ/ボリューム種別の変更) 手順 (GUI版)

■ 前提条件および注意事項

- ・仮想サーバーインスタンスのリサイズ時には、仮想サーバーインスタンスのステータスが電源停止状態であることを推奨しております。

※インスタンス起動状態でも本手順は実行可能ですが、処理の過程でインスタンスの停止、起動が実行されます。フレーバーの変更実行前に、データ等の保存を実施してください。

また、インスタンス上のアプリケーション等を停止した状態で実施してください。

- ・Windows Server 2012R2では、インスタンスのリサイズを絶対に実行しないでください。
※新環境では、Windows Server 2012R2の提供がないため、インスタンスのリサイズを実行するとOS起動不可となります。切り戻しもできないため、ご注意ください。

- ・ボリューム種別の変更は、以下の状態での実行を推奨しております。

- ・仮想サーバーインスタンスにアタッチした状態 (※)
- ・アタッチした仮想サーバーインスタンスが稼働中

※月額固定料金のOSが入ったボリュームについて、アタッチ/デタッチを繰り返すとそれに応じて、OSに係る月額固定料金が発生するので、ご注意ください。

(サーバーインスタンス - サーバーインスタンス 詳細情報)

1.1.1 仮想サーバーインスタンス新環境移行 (インスタンスのリサイズ/ボリューム種別の変更) 手順 (GUI版)

■ 仕様上の制限

- 仮想サーバーインスタンスのリサイズによるシリーズ変更とボリューム種別の変更をあわせて行う際は、必ず以下の順序で実施してください。
 1. 仮想サーバーインスタンスのリサイズによる変更 (V1A⇒V2B)
 2. ボリューム種別の変更 (Type-A⇒Type-B)
- ※仮想サーバーインスタンスのシリーズが「V2B」の場合にのみ、ボリューム種別を「Type-B」へ変更することが可能です。
- 本手順にて仮想サーバーインスタンスのリサイズによるフレーバー変更、ボリューム種別の変更を実施し、新環境への移行した場合、元のシリーズやボリューム種別に戻すことはできません。

1.1.1 仮想サーバーインスタンス新環境移行 (インスタンスのリサイズ/ボリューム種別の変更) 手順 (GUI版)

■ 移行作業内容

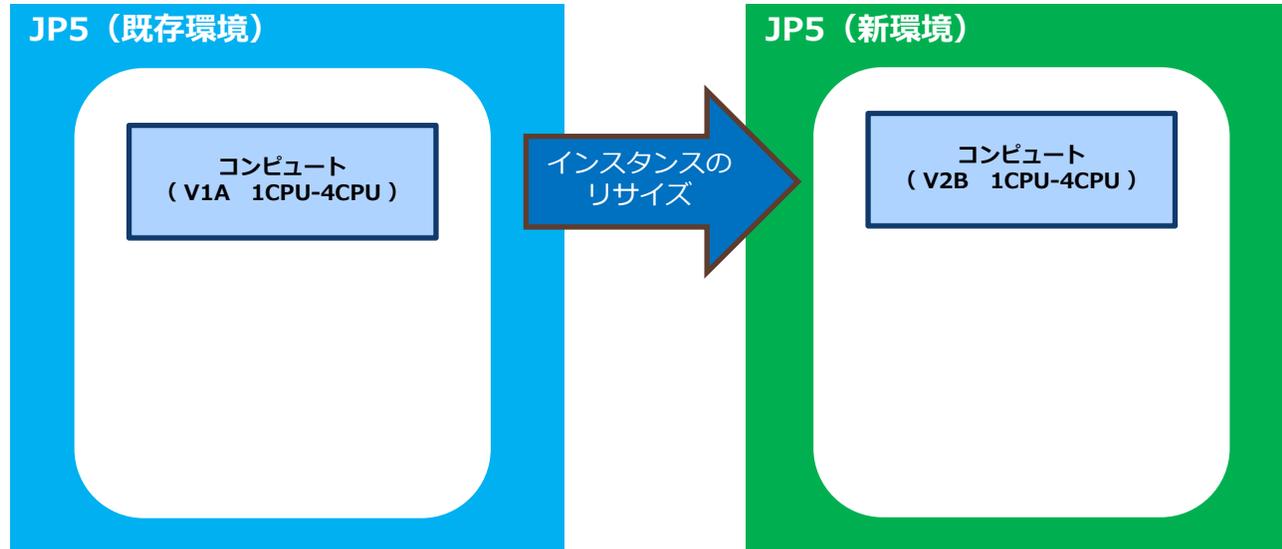
システム構成によって必要な手順が異なります。

構成に合わせて、パターンA、B、C作業を実施してください

パターン	構成	実施する作業
パターンA	仮想サーバーインスタンスのみ	① 仮想サーバーインスタンスのリサイズ
パターンB	仮想サーバーインスタンス+ボリューム	① 仮想サーバーインスタンスのリサイズ ② ボリューム種別の変更
パターンC	ボリュームのみ	② ボリューム種別の変更

1.1.1 仮想サーバーインスタンス新環境移行 (インスタンスのリサイズ/ボリューム種別の変更) 手順 (GUI版)

■ パターンA：仮想サーバーインスタンスのみ

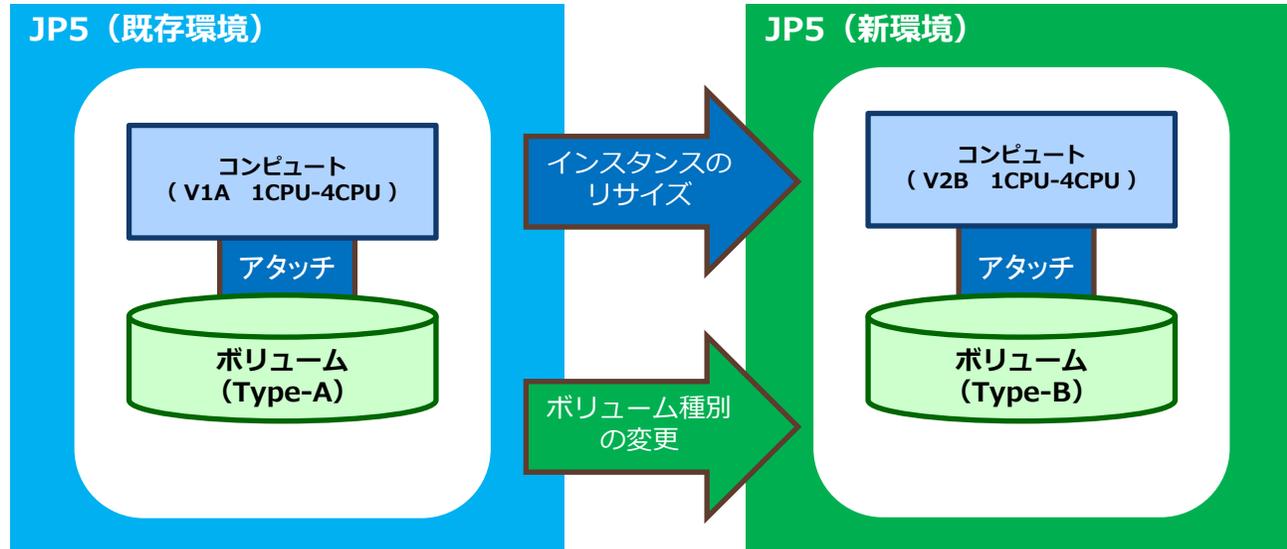


■ 実施する作業

⇒ ①仮想サーバーインスタンスのリサイズ (手順：7～10ページ)

1.1.1 仮想サーバーインスタンス新環境移行 (インスタンスのリサイズ/ボリューム種別の変更) 手順 (GUI版)

■ パターンB: 仮想サーバーインスタンス+ボリューム

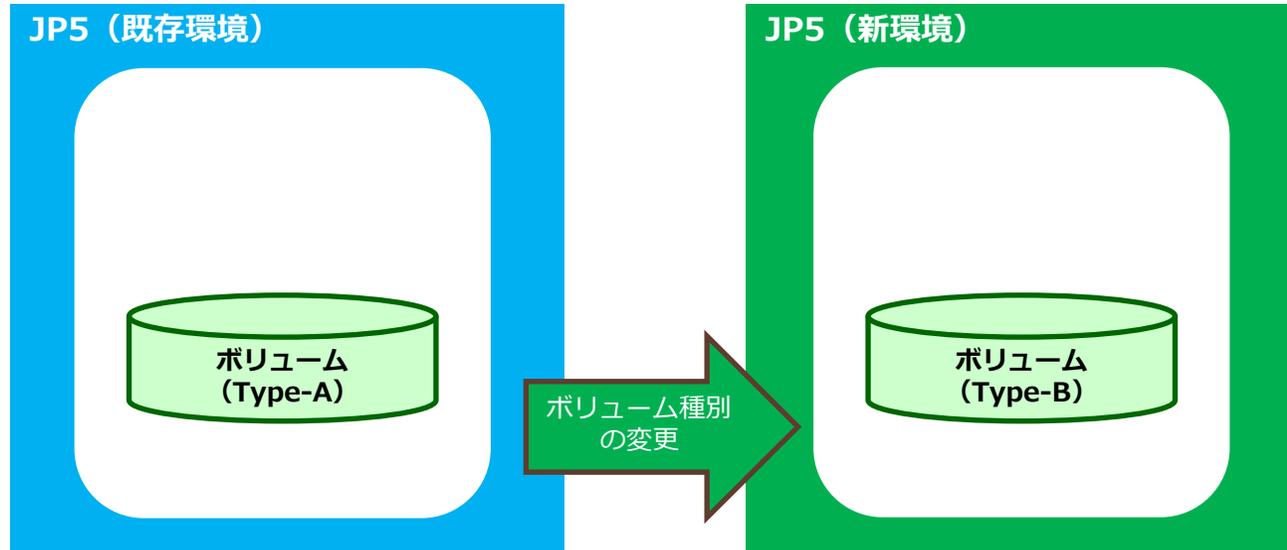


■ 実施する作業

- ⇒ ①仮想サーバーインスタンスのリサイズ (手順: 7~10ページ)
- ②ボリューム種別の変更 (手順: 11~13ページ)

1.1.1 仮想サーバーインスタンス新環境移行 (インスタンスのリサイズ/ボリューム種別の変更) 手順 (GUI版)

■ パターンC: ボリュームのみ

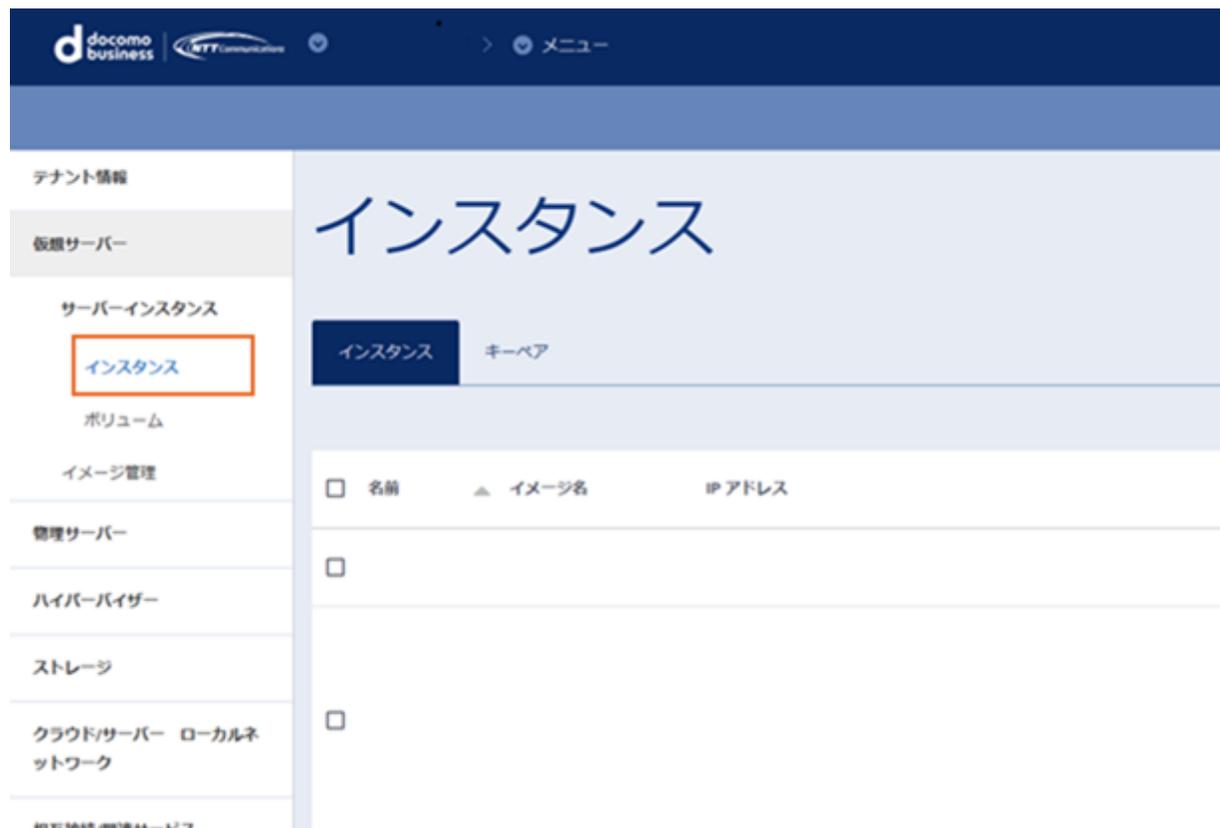


■ 実施する作業

⇒ ②ボリューム種別の変更 (手順: 11~13ページ)

① 仮想サーバーインスタンスのリサイズ

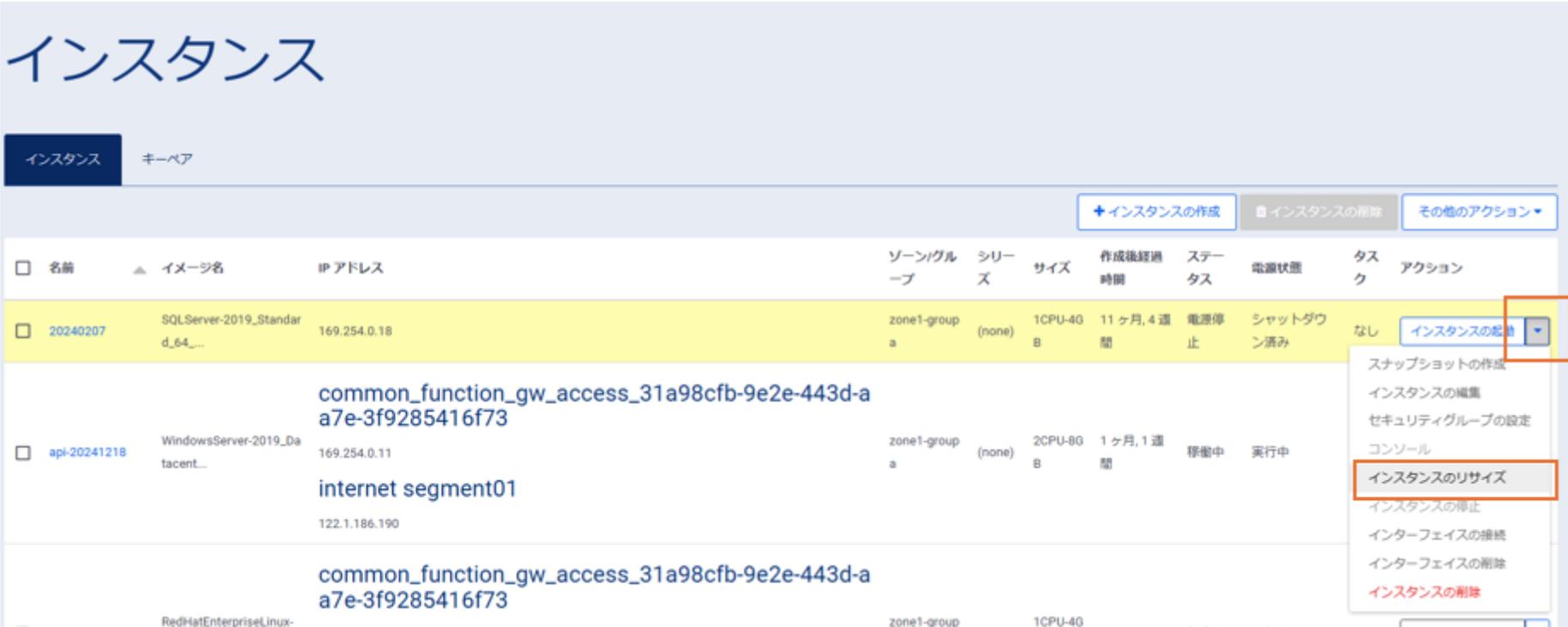
SDPFポータルへログインし、[仮想サーバー]>[サーバーインスタンス]>[インスタンス]メニューを開きます。



The screenshot shows the docomo business SDPF portal interface. The left sidebar contains a navigation menu with the following items: テナント情報, 仮想サーバー, サーバーインスタンス, インスタンス (highlighted with an orange box), ボリューム, イメージ管理, 管理サーバー, ハイパーバイザー, ストレージ, クラウド/サーバー ローカルネットワーク, and 設定/接続/ヘルプ. The main content area displays the title 'インスタンス' and two tabs: 'インスタンス' (selected) and 'キープア'. Below the tabs is a table with columns for '名前', 'イメージ名', and 'IPアドレス'. The table currently contains three empty rows, each starting with a checkbox.

①仮想サーバーインスタンスのリサイズ

対象の仮想サーバーインスタンスの「▼」をクリックし、「インスタンスのリサイズ」を選択します。



インスタンス

インスタンス キーペア

+ インスタンスの作成 | インスタンスの削除 | その他のアクション ▼

名前	イメージ名	IP アドレス	ゾーン/グループ	シリーズ	サイズ	作成後経過時間	ステータス	電源状態	タスク	アクション
<input type="checkbox"/> 20240207	SQLServer-2019_Standar d_64_...	169.254.0.18	zone1-group a	(none)	1CPU-40 B	11ヶ月, 4週 間	電源停止	シャットダウン済み	なし	インスタンスの起動 ▼
<input type="checkbox"/> api-20241218	WindowsServer-2019_Da tacent...	169.254.0.11	zone1-group a	(none)	2CPU-80 B	1ヶ月, 1週 間	稼働中	実行中		スナップショットの作成 インスタンスの編集 セキュリティグループの設定 コンソール インスタンスのリサイズ インスタンスの停止 インターフェイスの接続 インターフェイスの削除 インスタンスの削除
		common_function_gw_access_31a98cfb-9e2e-443d-a a7e-3f9285416f73 internet segment01 122.1.186.190								
	RedHatEnterpriseLinux-	common_function_gw_access_31a98cfb-9e2e-443d-a a7e-3f9285416f73	zone1-group		1CPU-40					

①仮想サーバーインスタンスのリサイズ

インスタンスのリサイズ画面が表示されるので、新しいフレーバー欄の「新しいシリーズ」にて「V2B」を選択し、「インスタンスのリサイズ」をクリックします。

インスタンスのリサイズ

フレーバーの選択 *

現在のフレーバー		現在のフレーバー
現在のシリーズ	現在のサイズ	フレーバーID
V1A	1CPU-4GB	1CPU-4GB
新しいフレーバー	新しいサイズ *	シリーズ
新しいシリーズ	1CPU-4GB	V1A
V2B		仮想CPU
		1
		メモリー
		4 GB
<input type="checkbox"/> ドライランモードを有効にする		新しいフレーバー
Windows Server 2012 R2をV2Bシリーズのフレーバーで動作させることはできません。		フレーバーID
		V2B_1CPU-4GB
		シリーズ
		V2B
		仮想CPU
		1
		メモリー
		4.0 GB
		プロジェクトのリソース上限
		インスタンス数 / 使用中
		<div style="width: 100%; height: 10px; background-color: #90EE90;"></div>
作成前に こちら のご利用料金一覧から各メニューの料金詳細に遷移いただき、注意事項をご確認ください。	<input type="button" value="取り消し"/>	<input type="button" value="インスタンスのリサイズ"/>

①仮想サーバーインスタンスのリサイズ

インスタンスのリサイズが完了すると、「シリーズ」の項目が更新されます。

所要時間の目安：容量30GBにつき4~8分（基盤の利用状況などによって実際の時間と異なる場合があります。）

※インスタンスのリサイズ処理完了した後も「シリーズ」の項目が更新されない、もしくは、「ステータス」の項目がエラーになった場合は「①仮想サーバーインスタンスのリサイズ」手順を再実行してください。

再実行しても解消されない場合は、チケットシステムよりお問い合わせください。

The screenshot shows the Docomo Business portal interface. The left sidebar contains navigation items: テナント情報, 仮想サーバー, サーバーインスタンス, インスタンス, ボリューム, and イメージの管理. The main content area displays a table of virtual server instances. One instance is highlighted in yellow, with its 'シリーズ' (Series) column value 'V2B' circled in red. The instance details are as follows:

zone1-group	シリーズ	1CPU-4G	20時間.4	稼働中	実行中	なし	インスタンスの起動
a	V2B	B	3分				

①仮想サーバーインスタンスのリサイズ

インスタンスのリサイズ後、対象の仮想サーバーインスタンスの「インスタンスの起動」をクリックします。

The screenshot shows the NTT Docomo Business console interface. The top navigation bar includes the docomo business logo, a menu icon, and links for 'リクエスト' (Request), 'サポート' (Support), and '管理者メニュー' (Admin Menu). The left sidebar contains navigation options: 'テナント情報' (Tenant Information), '仮想サーバー' (Virtual Server), 'サーバーインスタンス' (Server Instance), 'インスタンス' (Instance), 'ボリューム' (Volume), and 'イメージ管理' (Image Management). The main content area displays a table of virtual server instances. The instance shown is in the '実行中' (Running) state, and the 'インスタンスの起動' (Start Instance) button is highlighted with a red box.

zone1-group	V2B	1CPU-4G	20 時間, 4	稼働中	実行中	なし	インスタンスの起動
a		B	3分				

① 仮想サーバーインスタンスのリサイズ

対象の仮想サーバーインスタンスの「電源状態」の項目が「実行中」になったことを確認し、「▼」から「コンソール」を選択します。

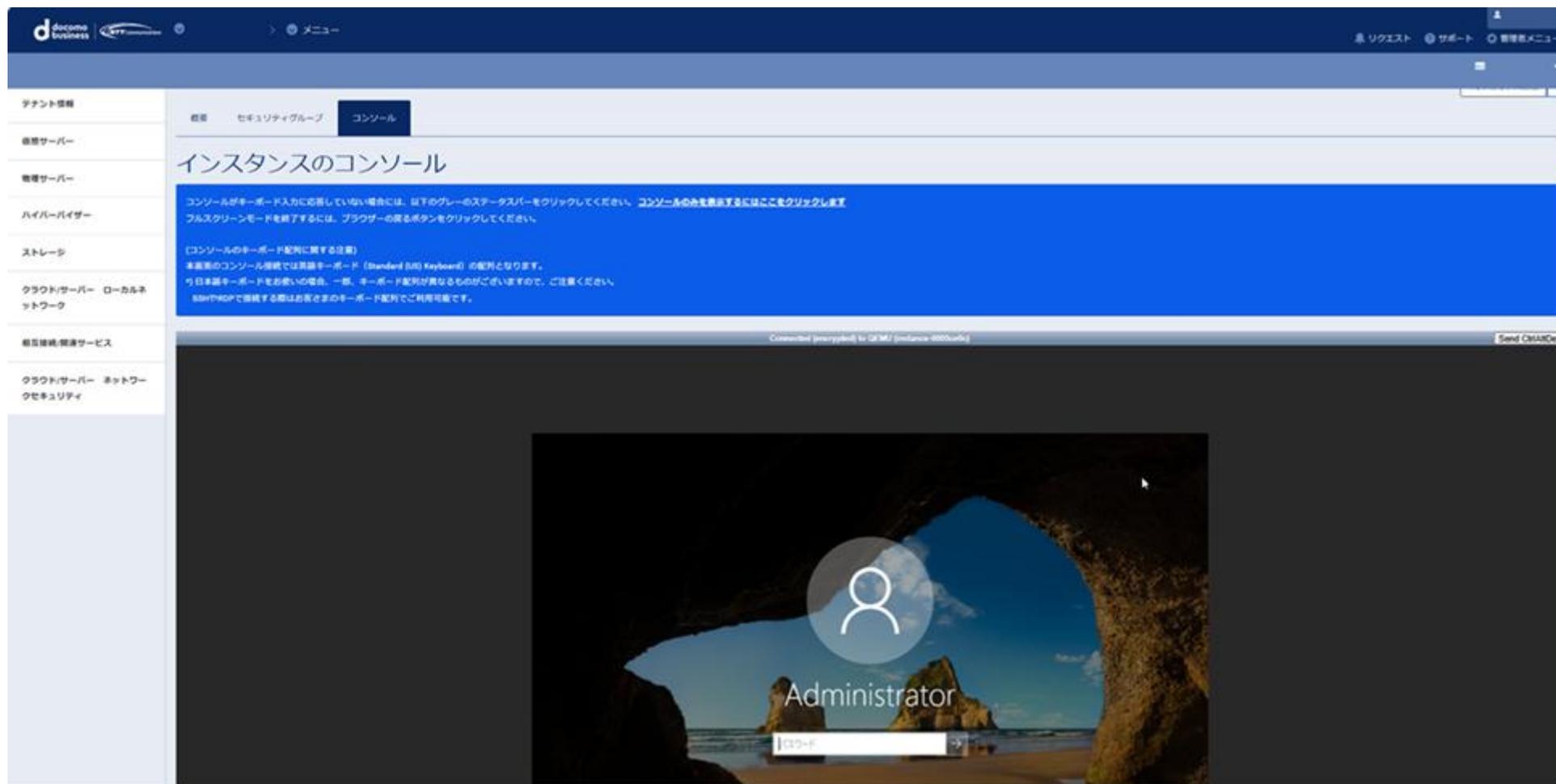
The screenshot shows the 'Instances' page in the NTT docomo Business console. The page title is 'インスタンス' (Instances). The left sidebar contains navigation options: テナント情報, 仮想サーバー, サーバーインスタンス, インスタンス, ボリューム, イメージ管理, 物理サーバー, ハイパーバイザー, ストレージ, クラウド/サーバー ローカルネットワーク, and 相互接続/関連サービス. The main content area shows a table of instances with columns: 名前, イメージ名, IPアドレス, ゾーン/グループ, シリーズ, サイズ, 作成/経過時間, ステータス, 電源状態, タスク, and アクション. One instance is highlighted in yellow, and its '電源状態' is '実行中'. A dropdown menu is open for this instance, showing options: インスタンスの起動, スタックショットの作成, インスタンスの編集, セキュリティグループの設定, **コンソール**, インスタンスのリサイズ, インスタンスの停止, インターフェイスの接続, インターフェイスの削除, and インスタンスの削除. The 'コンソール' option is highlighted with a red box.

名前	イメージ名	IPアドレス	ゾーン/グループ	シリーズ	サイズ	作成/経過時間	ステータス	電源状態	タスク	アクション
			zone1-group	V28	1CPU-4GB	3日, 16時間	稼働中	実行中	なし	インスタンスの起動 スタックショットの作成 インスタンスの編集 セキュリティグループの設定 コンソール インスタンスのリサイズ インスタンスの停止 インターフェイスの接続 インターフェイスの削除 インスタンスの削除

①仮想サーバーインスタンスのリサイズ

コンソール画面より正常にOSにログインできることを確認してください。

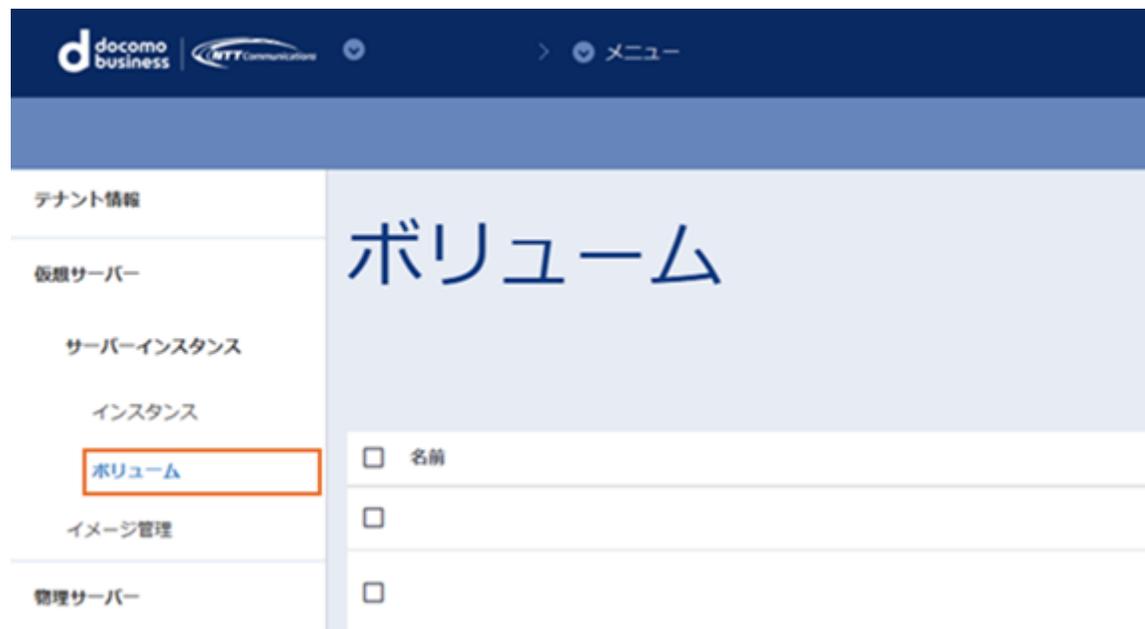
※仮想サーバーインスタンスにアタッチしたボリュームに対し、「②ボリューム種別の変更」をおこなう場合、仮想サーバーインスタンスを起動したまま、「②ボリューム種別の変更」手順を実施してください。



②ボリューム種別の変更

SDPFポータルへログインし、[仮想サーバー]>[サーバーインスタンス]>[ボリューム]メニューを開きます。

※仮想サーバーインスタンスにアタッチされているボリュームに対して「②ボリューム種別の変更」をおこなう場合は「①仮想サーバーインスタンスのリサイズ」によるシリーズ変更が正常終了していることを確認の上、手順を進めてください。



②ボリューム種別の変更

対象のボリュームの「▼」をクリックし、「ボリューム種別の変更」を選択します。

The screenshot shows the 'Volumes' management page in the NTT docomo Business console. The page title is 'ボリューム'. A table lists the following volume:

名前	説明	ゾーン/グループ	サイズ	種別	接続先	起動可能	ステータス	アクション
<input type="checkbox"/>	-	zone1-groupa	500GB	Type-A	/dev/sdb に接続中	いいえ	使用中	ボリュームの編集 ▼

The dropdown menu for the 'アクション' column is open, showing the following options:

- ボリュームの拡張
- 接続の管理
- インスタンスとして起動
- ボリューム種別の変更** (highlighted with a red box)

②ボリューム種別の変更

ボリューム種別の変更画面が表示されるので、「ボリューム種別」欄にて「Type-B」を選択し、「ボリューム種別の変更」をクリックします。

ボリューム種別の変更

ボリューム種別

Type-B

ドライランモードを有効にする

取り消し

ボリューム種別の変更

②ボリューム種別の変更

ボリューム種別の変更が完了すると、「種別」の項目が更新されます。

所要時間の目安： アタッチ状態のボリューム容量1TBにつき1~2時間
(基盤の利用状況などによって実際の時間と異なる場合があります。)

※ボリュームのリタイプ処理完了しても「種別」の項目が更新されない、もしくは「ステータス」項目がエラーになった場合は、「②ボリュームの種別の変更」手順を再実行してください。

再実行しても解消されない場合は、チケットシステムよりお問い合わせください。

The screenshot shows the 'ボリューム' (Volumes) management page in the docomo Business console. The table below represents the data shown in the interface:

名前	説明	ゾーン/グループ	サイズ	種別	接続先	起動可能	ステータス	アクション
<input type="checkbox"/>	-	zone1-groupa	100GB	Type-B	/dev/vda に接続中	いいえ	使用中	ボリュームの編集

②ボリューム種別の変更

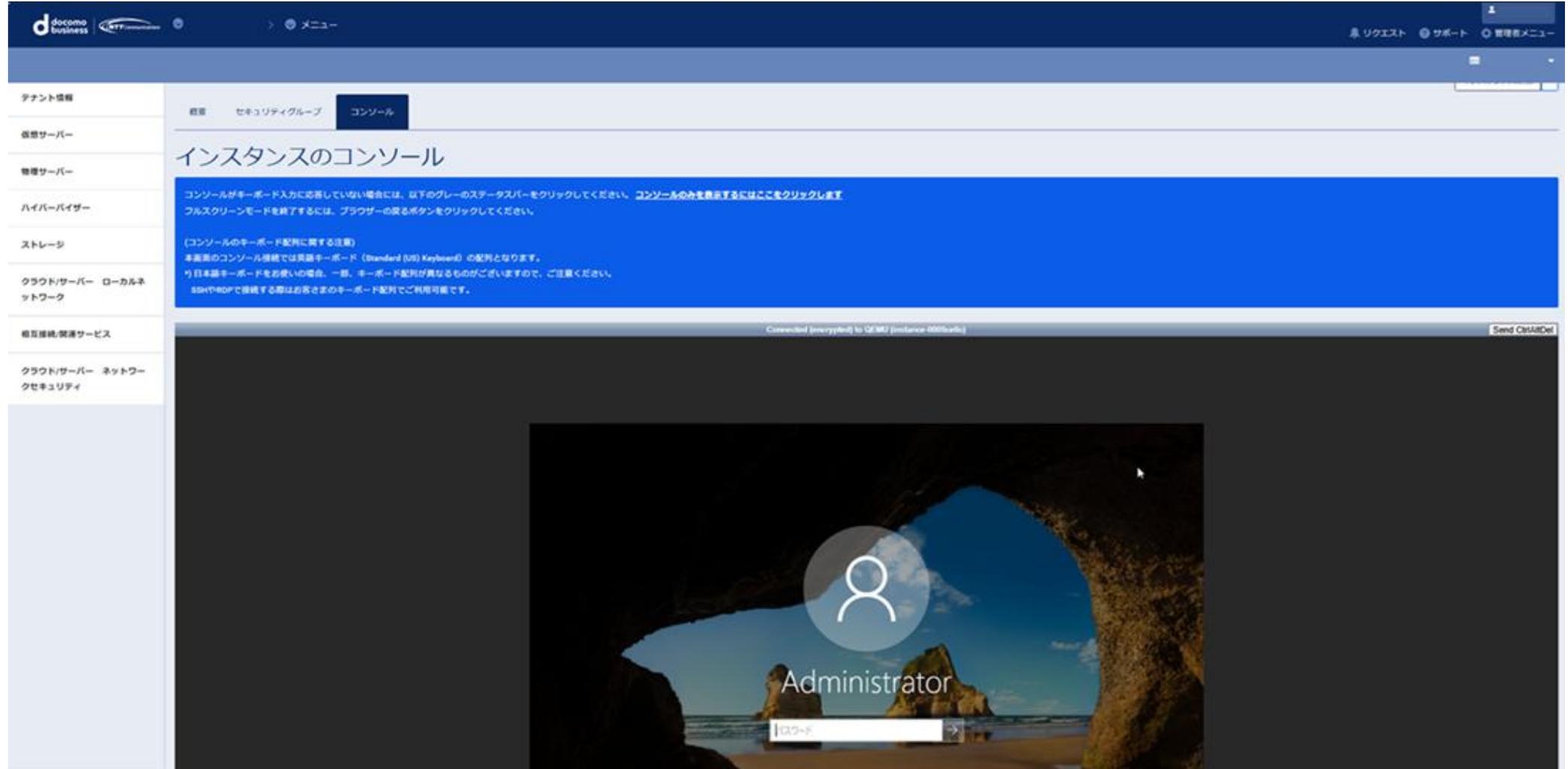
ボリュームがアタッチされている仮想サーバーインスタンスの「▼」をクリックし、「コンソール」を選択します。
 ※仮想サーバーインスタンスにアタッチされていないボリュームの場合は、18～20ページの作業は不要です。

The screenshot shows the 'Instances' page in the NTT docomo Business console. The page title is 'インスタンス' (Instances). On the left, there is a navigation menu with categories like 'テナント情報', '仮想サーバー', 'サーバーインスタンス', 'ボリューム', etc. The main content area shows a table of instances. The table has columns for '名前' (Name), 'イメージ名' (Image Name), 'IPアドレス' (IP Address), 'ゾーン/グループ' (Zone/Group), 'シリーズ' (Series), 'サイズ' (Size), '作成後経過時間' (Elapsed Time After Creation), 'ステータス' (Status), '電源状態' (Power State), 'タスク' (Task), and 'アクション' (Action). Three instances are listed, with the first one highlighted in yellow. A dropdown menu is open for the first instance, showing options like 'インスタンスの起動' (Start Instance), 'スナップショットの作成' (Create Snapshot), 'インスタンスの編集' (Edit Instance), 'セキュリティグループの設定' (Configure Security Group), 'コンソール' (Console), 'インスタンスのリサイズ' (Resize Instance), 'インスタンスの停止' (Stop Instance), 'インターフェイスの接続' (Connect Interface), 'インターフェイスの切断' (Disconnect Interface), and 'インスタンスの削除' (Delete Instance). The 'コンソール' option is highlighted with a red box.

名前	イメージ名	IPアドレス	ゾーン/グループ	シリーズ	サイズ	作成後経過時間	ステータス	電源状態	タスク	アクション
			zone1-group	V28	1CPU-4GB	3日, 16時間	稼働中	実行中	なし	インスタンスの起動 スナップショットの作成 インスタンスの編集 セキュリティグループの設定 コンソール インスタンスのリサイズ インスタンスの停止 インターフェイスの接続 インターフェイスの切断 インスタンスの削除
			zone1-group	V28	1CPU-4GB	3日, 17時間	稼働中	実行中		
			zone1-group	V28	1CPU-2GB	1週間, 5日	エラー	None		

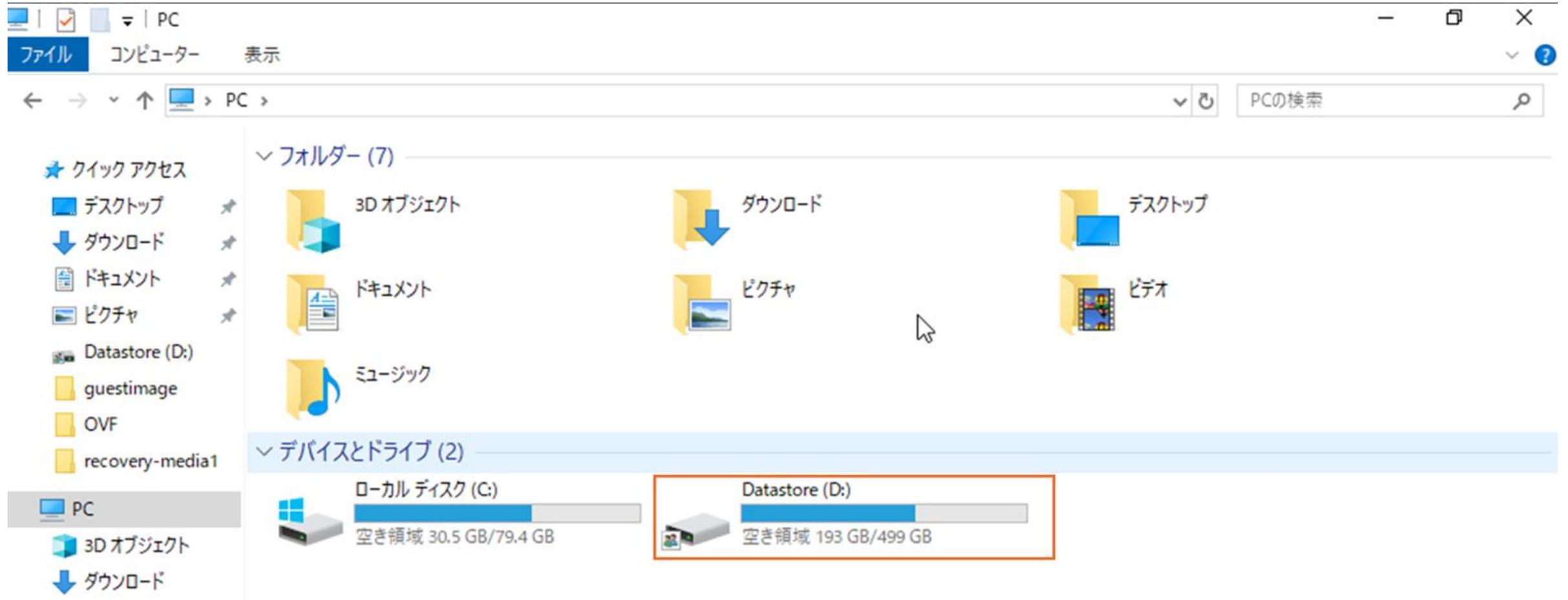
②ボリューム種別の変更

コンソール画面よりOSにログインします。



②ボリューム種別の変更

OSにログイン後に対象のボリュームが参照できることを確認してください。



1.1.1 仮想サーバーインスタンス新環境移行 (インスタンスのリサイズ/ボリューム種別の変更) 手順 (GUI版)

■ 切り戻し方法

- 仮想サーバーインスタンスのリサイズ、ボリューム種別の変更を実施した場合、切り戻しはできません。

1.1.1 仮想サーバーインスタンス新環境移行 (インスタンスのリサイズ/ボリューム種別の変更) 手順 (GUI版)

■ 手順通り進まない場合の対処方法

- エラー等が発生した場合や手順に関する不明点がございましたら、チケットシステムよりチケット起票いただきお問い合わせください。

※チケット起票手順につきましては、「[SDPFクラウド/サーバー関連チケット起票方法](#)」をご参照ください。
お問い合わせ内容によって下記区分をご選択ください。

Incident Submission	:	故障・不具合に関するお問い合わせ
General Inquiry	:	設備更改のガイドラインおよび手順書に関するお問い合わせ

- また、次スライドにFAQも用意しておりますので、併せてご参照ください。

1.1.1 仮想サーバーインスタンス新環境移行 (インスタンスのリサイズ/ボリューム種別の変更) 手順 (GUI版)

■ FAQ

- Q1 : 新環境移行作業（仮想サーバーインスタンスのリサイズ/ボリューム種別の変更）は、同時に何台まで実行可能ですか？
- A1 : 新環境移行作業（仮想サーバーインスタンスのリサイズ/ボリューム種別の変更）は、1テナントあたり同時に2台まで実行可能です。
また、システムを保護するため、別途リージョン全体でも並列実行数の制限をかけております。
- Q2 : 新環境移行作業（仮想サーバーインスタンスのリサイズ/ボリューム種別の変更）実行時にエラーとなった場合
どういった挙動をしますか？
- A2 : 新環境移行作業（仮想サーバーインスタンスのリサイズ/ボリューム種別の変更）は、実行されずに終了します。
再度、新環境移行作業（仮想サーバーインスタンスのリサイズ/ボリューム種別の変更）の実行をお願いします。
- Q3 : 新環境移行作業（仮想サーバーインスタンスのリサイズ/ボリューム種別の変更）後に不具合が発生した場合、
旧環境への切り戻しは可能ですか？
- A3 : 仮想サーバーインスタンスのリサイズ/ボリューム種別の変更による切り戻しは出来ません。

1.1.1 仮想サーバーインスタンス新環境移行 (インスタンスのリサイズ/ボリューム種別の変更) 手順 (GUI版)

■ FAQ

- Q4 : ボリュームをアタッチした仮想サーバーインスタンスの場合、インスタンスのリサイズとボリューム種別の変更どちらを先に実行すればよいですか？
- A4 : 仮想サーバーインスタンスのリサイズによるシリーズ変更を先に実施する必要があります。
必ず以下の順序で実施してください。
1. 仮想サーバーインスタンスのリサイズによる変更 (V1A⇒V2B)
 2. ボリューム種別の変更 (Type-A⇒Type-B)
- ※ 仮想サーバーインスタンスのシリーズが「V2B」の場合にのみ、ボリューム種別「Type-B」へ変更が可能。
- Q5 : 新環境移行作業 (仮想サーバーインスタンスのリサイズ/ボリューム種別の変更) の所要時間を教えてください。
- A5 : 所要時間の目安は下記の通りです。但し、基盤の利用状況などによって実際の時間は異なる場合があります。
- ・仮想サーバーインスタンスのリサイズ : 容量30GBにつき4~8分
 - ・ボリューム種別の変更 (アタッチ状態) : 容量1TBにつき1~2時間
 - ・ボリューム種別の変更 (デタッチ状態) : 容量1TBにつき6~12時間
- Q6 : 新環境移行作業 (仮想サーバーインスタンスのリサイズ/ボリューム種別の変更) による通信影響はありますか？
- A6 : 仮想サーバーインスタンスのリサイズについては、インスタンスがインスタンスがシャットダウンされるため、その間インスタンスはご利用頂けません。
ボリューム種別の変更については、ボリュームを利用したまま移行作業が可能ですが、移行の安全性を高めるためにアプリケーションの停止を推奨しております。